

第6章 自然と調和する住みよいまち 第3節 道路

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
			会計	投入コスト		活動実績(R2)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)	
建設総務課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	国土調査完了地域において、座標値をもった道路境界確定図の整備が着実に進められている。	R2年度に改善した点	9. 産業と技術革新の基盤を作ろう	11. 住み続けられるまちづくりを		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	3,078千円	2,156千円	①単年度確定面積	国土調査完了区域における確定測量実施面積	R1目標	R1実績							
	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②確定測量累計面積	R2実績										
	道水路座標管理図面作成事業	事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績	R2目標	R2実績								
期間	S53～	道水路の確定図面を整備する。	0.55人	0.00人	①0.08km ²	0.06km ²	0.06km ²								
建設総務課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	境界確認申請のうち97%以上の案件において、道水路境界を確定することができた。	R2年度に改善した点	9. 産業と技術革新の基盤を作ろう	11. 住み続けられるまちづくりを		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	4,829千円	4,070千円	①申請件数	申請により境界が確定した件数	R1目標	R1実績							
	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②境界確定件数	R2実績										
	道水路境界確定事業	事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績	R2目標	R2実績								
期間	S35～	道水路境界を確定又は修正し、確定図を整備することにより、適正な道水路の維持管理を図るとともに、民有地の土地利用の促進を図る。	2.20人	0.00人	①160件	160件	199件								
計画道路整備課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	本路線は所沢市の外環状道路であるため、全線開通により交通渋滞の緩和に大きく寄与する事業であることから重点的に整備を進めている。	R2年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを			
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	644,518千円	404,583千円	①用地取得率	交通渋滞緩和	R1目標	R1実績							
	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②工事着手率	R2実績										
	北野下富線道路築造事業	事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績	R2目標	R2実績								
期間	H6年度～	平成4年度の都市交通施設整備計画において所沢市の外環状道路として位置付け、幹線道路の環状型ネットワークを形成し、市内道路の交通渋滞緩和を図るものである。	5.40人	0.00人	①1工区 84% 2工区 100%	開通後1割削減	2,606台								
計画道路整備課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	本路線は新所沢跨道橋通りから市道3-1124号線までの延長890mの区間が開通している。	R2年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを			
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	0千円	0千円	①用地取得率	交通渋滞緩和	R1目標	R1実績							
	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②工事着手率	R2実績										
	松葉道北岩岡線道路築造事業	事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績	R2目標	R2実績								
期間	H16年度～	新所沢の市街地から狭山市内の主要地方道所沢狭山線と接続することによる交通の利便性の向上とともに、交通渋滞緩和と周辺住民の安心・安全確保を図るものである。	1.00人	0.00人	①100%	開通後1割削減	2,606台								

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
			会計	投入コスト		活動実績(R2)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)	
道路建設課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標を達成している。	R2年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを			
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	247,423千円	217,512千円	①改良整備工事件数(路線数)	単年度改良整備工事実施件数	予算配分に基づき、路線の優先順位を考慮して工事実施件数(目標)を決定する。								
	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②改良整備延長	R1目標		R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析							
	道路法	282,522千円	252,863千円	実績	3件	3件	目標達成済								
	事業の具体的な内容及び目的	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	①6路線	R2目標	R2実績									
	道路の幅や交差点の改良により安全性・利便性の確保と渋滞の緩和を図る。また歩行者の通行が多い道路については、歩道の設置により、誰もが安心・安全に利用できる道路整備を行う。	3.43人	0.00人	②1063.8m	R3目標										
期間	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合		2件											
S25年～	2.99人	0.00人				評価者	道路建設担当 吉田 進一								
	24,422千円														
道路建設課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	2-561号線、2-996号線交差点改良工事については完了し、目標を達成した。2-561号線の用地取得の内、1件については、交渉がまとまっていたが、地権者が死亡したことにより、引続き相続人と交渉したが年度内には用地買収に係る契約の成立に至らず、目標未達成となった。	R2年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを			
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	205,819千円	193,738千円	①市道2-561号線・2-996号線交差点改良工事	令和2年度市道2-561号線・2-996号線交差点改良工事市道2-561号線用地取得	COOL JAPAN FOREST構想事業の全体像が流動的で、事業内容が確定できないため、単年度取組目標とする。								
	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②市道2-561号線用地取得	R1目標		R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析							
	道路法、河川法、土地収用法	75,633千円	18,961千円	実績	号線2-996号線交差点改良工事、市2-572号線道路改良工事	2-572号線: 工事完了 交差点: 用地買収完了	市道2-561号線の地権者に相続が発生し、地権者の相続人と交渉しなければならなくなったため、年度内に用地買収に係る契約の成立に至らなかったため。								
	事業の具体的な内容及び目的	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	①令和2年11月27日完了	R2目標	R2実績									
	「COOL JAPAN FOREST」構想の拠点施設である「ところざわサクラタウン」を中心とした半径約500m圏内の重点推進エリアにおいて交通環境整備を行うことによって、交通の円滑化を進めて行くものである。現在整備を計画している路線は市道2-572号線、市道2-561号線及び市道2-996号線の3路線である。	1.20人	0.00人	②125.29㎡	R3目標										
期間	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合		市道2-561号線及び市道2-996号線用地取得											
H28年～	1.24人	0.00人				評価者	道路建設担当 吉田 進一								
	10,128千円														
道路建設課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標を達成している。	R2年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを			
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	9,300千円	5,317千円	①市道舗装整備実施件数	舗装整備工事実施件数	予算配分に基づき、市民からの要望の申請順に舗装路線数(目標工事件数)を決定する。								
	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②私道舗装整備実施件数	R1目標		R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析							
	道路法、所沢市私道舗装要綱	31,200千円	24,993千円	実績	私道2件	私道2件	目標達成済								
	事業の具体的な内容及び目的	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	①3件	R2目標	R2実績									
	市民からの未舗装道路の舗装要望に基づき、ほこりや騒音、水溜り等を防止し、生活道路としての機能的な整備と良好な住環境の改善を図るため市道及び私道の舗装整備を行うものである。	0.53人	0.00人	②2件	市道3件・私道2件	市道3件・私道2件									
期間	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合		市道1件・私道1件											
S25年～	0.89人	0.00人				評価者	道路建設担当 吉田 進一								
	7,270千円														
道路建設課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標を達成している。	R2年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを			
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	—	—	①用地測量	新設道路の築造進捗率	新設道路の築造にあたり、大きく3段階に分け、それぞれ①設計15%→②用地購入45%(15%×3年)→③工事40%(20%×2年)達成した事とする。								
	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②詳細設計	R1目標		R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析							
	道路法 土地収用法	12,200千円	11,525千円	③道路認定	—	—	目標達成済								
	事業の具体的な内容及び目的	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	①令和3年3月26日完了	R2目標	R2実績									
	三ヶ島地区の交通の利便性の向上、地域の活性化及び安心・安全な歩行空間を確保するため新設道路を整備するもので、3工区「林運動場」付近から人間市宮寺の県道所沢青梅線「南矢萩」バス停付近までのうち、所沢市分の約368mの区間を整備するものである。	—	—	②令和3年3月26日完了	15.0%	15.0%									
期間	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	③令和2年度第4回定例議会において市道4-1386号線として認定	R3目標											
R2～	1.00人	0.00人		30.0%		評価者	道路建設担当 吉田 進一								
	8,168千円														

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
			会計	投入コスト		活動実績(R2)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)	
道路維持課	実施計画ランク	事業の種類別	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		-	歩行者と自転車とを分離することで安全性を確保した。	R2年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を			
	優先	<input type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加	56,226千円	10,824千円	①自転車レーン設置工事	自転車レーン整備の実施延長(m)	歩行者・自転車の通行の安全性を確保するため、道路状況に応じた自転車レーンを整備するため、その整備延長をもって指標とする。								
	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	14,657千円			13,464千円								
	自転車レーン整備事業	事業の具体的な内容及び目的	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析							
		歩道内における歩行者と自転車の接触事故の軽減を目的として歩行者と自転車の分離により、安全性を確保するとともに地域のニーズに応じた自転車通行レーンを整備する。	2.92人	0.00人		3,337m	3,697m								
			R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合		24,271千円	0.00人							R2目標	R2実績
期間	H30~	0.95人	0.00人	①1088.4m	5,907m	5,525m	当初、市道2-1210号線(旧2-993号線)自転車レーン設置工事については、東所沢中央交差点から武蔵野線のアンダーパスをくぐり東所沢四丁目交差点までの計画であったが、アンダーパスの車道側を通行する際の安全性を関係機関と協議したところ、自転車を歩道へ誘導する方向に変えたことから、施工距離が短くなり計画距離が未達となった。								
		7,760千円	0.00人		R3目標	7,444m									
評価者	課長 相沢 渉														
建設総務課	実施計画ランク	事業の種類別	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	市管理の道路照明灯の修繕について、迅速な修繕により適正な維持管理をすることができた。道路照明灯LED化整備事業によるリース物件の道路照明灯の維持管理については、リース事業者と連携し効率的な管理が行われた。	R2年度に改善した点	7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに	11. 住み続けられるまちづくりを		
	重要	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加	139,552千円	134,757千円	①必要な修繕数 ②修繕実施数 ③電気料支払い灯数	修繕完了灯数	目標値: 想定される修繕灯数 実績: 修繕実施灯数								
	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	137,702千円			132,314千円								
	道路照明灯維持管理事業	事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析							
		【目的】歩行者、自転車及び車両の夜間交通の安全確保及び円滑かつ快適な利用を図る。 【内容】道路照明灯の新設・維持管理を行う。また、リース対象の8,602灯についてはリース料を支払う。	0.70人	0.00人		200件	112件								
			R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合		5,818千円	0.00人							R2目標	R2実績
期間	S53~	0.70人	0.00人	①89件 ②89件 ③10,766灯	150件	89件	目標達成 (目標値は想定される修繕数であり、実施の修繕灯は目標値を下回っているが、修繕自体が少ないことが良いとの判断から達成済みとした。)								
		5,718千円	0.00人		R3目標	100件									
評価者	建設総務課長 田中 淳														
建設総務課	実施計画ランク	事業の種類別	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	防犯灯補助金については、各自治会等からのLED化の要望が多く、すべての要望に応えることはできなかったが、防犯灯LED化整備事業と合わせて、LED化の促進を図ることで、ほとんどの防犯灯をLED灯にすることができ、安全なまちづくりに資することができた。	R2年度に改善した点	7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに	11. 住み続けられるまちづくりを		
	重要	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加	44,290千円	43,752千円	①新設費補助金 補助額 補助灯数 ②維持管理費補助金補助額 補助灯数 ③リース防犯灯数	目標値: 予算額 実績: 補助金交付額	目標値: 予算額 実績: 補助金交付額								
	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	44,290千円			43,701千円								
	防犯灯維持管理・補助事業	事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析							
		【目的】夜間における道路上での犯罪被害の防止。 【内容】自治会等が設置、維持管理する防犯灯に対し新設費(交換を含む)及び維持管理費の一部を助成することにより防犯灯の設置が促され、防犯効果の増大が図られるとともに、安全な都市空間を実現することになる。	0.80人	0.00人		24,006千円	23,468千円								
			R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合		6,650千円	0.00人							R2目標	R2実績
期間	S53~	0.75人	0.00人	①補助額 2,949,000円 補助灯数 116灯 ②補助額 20,467,900円 補助灯数 13,333灯 ③ 7,068灯	24,006千円	23,417千円	目標達成								
		6,126千円	0.00人		R3目標	24,006千円									
評価者	建設総務課長 田中 淳														
道路維持課	実施計画ランク	事業の種類別	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	大径木化したケヤキなどの街路樹については、沿道住民からの要望で強めに剪定を行うなどしているため、管理状態にバラツキがある。また、樹木診断を実施し、倒木の可能性がある街路樹については伐採等を行い、事故防止に努める。	R2年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを	15. 陸の豊かさを守ろう		
	優先	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加	105,000千円	104,979千円	①高・中・低木剪定数 ②除草 ③樹木診断	街路樹剪定・除草実施延長(km)	道路の景観や道路交通の安全確保を目的とするため街路樹の剪定や除草実施延長を指標とする。								
	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	106,000千円			0千円								
	街路樹管理事業	事業の具体的な内容及び目的	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析							
		幹線道路等の樹木剪定や植樹帯の除草を定期的に行い、街路樹の目的や機能を十分発揮させることにより、道路環境の整備はもとより良好な都市景観の形成と快適な生活空間を創出する。	2.95人	0.00人		58	34								
			R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合		24,520千円	0.00人							R2目標	R2実績
期間	S49~	2.95人	0.00人	①3216本 ②62,938㎡ ③100本	58	34	厳しい財政状況ではあるが、要望の多い路線を優先して実施しているため。								
		24,096千円	0.00人		R3目標										
評価者	課長 相沢 渉														

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
			会計	投入コスト		活動実績(R2)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)	
道路維持課	実施計画ランク	事業の種類別	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	市民からの通報や道路/パトロールにより、道路の危険状況を把握し、迅速に修繕を行うことにより、事故防止に努める。	R2年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを			
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	632,976千円	632,825千円	①要望・通報件数 ②道路補修改修工事 ③道路清掃	要望・通報に対する処理割合	老朽化した道路を修繕することが目的のため、要望・通報件数に対して処理した件数の割合を指標とする。	R2年度に改善した点							
	道路施設維持管理事業	根拠法令 道路法、道路構造令、所沢市道路の構造の技術的基準等を定める条例、所沢市移動円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例	R2予算現額	R2決算額(見込み)							①2,788件			R1目標	R1実績
		事業の具体的な内容及び目的	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績	R2目標	R2実績	R2目標値が未達成の理由・分析							
		老朽化が進行した道路や、機能が低下した道路施設を計画的に修繕し、道路利用者の安全を確保するとともに、沿道の生活環境の改善を目指す。	11.25人	0.00人	②11路線 1782.9km	100.0%	98.9%								
	期間		R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	③路面清掃 12路線 26.6km 樹清掃 89箇所 U字溝清掃 312m	100.0%	98.0%								
S25~		11.75人	0.00人		R3目標										
		95,974千円	0.00人		100.0%										
道路維持課	実施計画ランク	事業の種類別	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	これまでの定期点検の診断結果をもとに、「所沢市橋りょう長寿命化修繕計画」の見直しを行い、優先順位を見定めて、計画的な修繕を行っている。	R2年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを			
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	123,241千円	82,111千円	①橋りょう修繕 ②橋りょう修繕設計 ③管理者協議(河川・鉄道等)	修繕した橋りょう数	橋りょうの安全確保を目的とするため、点検により補修等が必要な橋りょうの修繕工事数を指標とする。	R2年度に改善した点							
	橋りょう長寿命化修繕事業	根拠法令 道路法、道路構造令、所沢市道路の構造の技術的基準等を定める条例、所沢市移動円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例	R2予算現額	R2決算額(見込み)							①1橋			R1目標	R1実績
		事業の具体的な内容及び目的	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績	R2目標	R2実績	目標達成済み							
		建設から長い年月が経過した橋りょうの老朽化に対し、定期的な点検を実施し、その結果から補修を行うとともに耐震性の向上を図ることで更なる安全性を確保する。	2.85人	0.00人	②6橋	3	3								
	期間	所沢市橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、修繕を計画的に進めることで橋りょうを延命化し、維持管理費用の縮減を図る。	23,689千円	0.00人	③3回	1	1								
H25~		2.85人	0.00人		R3目標										
		23,279千円	0.00人		1										